

講義名	流通科学入門		
科目区分	専門基礎		
担当教員	綿貫 真也		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

当科目の目的は、本学でさまざまな分野の学問を修めようとする皆さんに、流通・マーケティングについての関心と理解を共通の問題意識として持ってもらうことです。流通・マーケティングの問題は、企業が行なうビジネスとしての側面だけでなく、消費者としてのわれわれの暮らしにも密接に関連した、とても重要な問題です。当科目では、専用に用意された講義用資料を用いて、具体的な事業の事例を盛り込んだ講義を展開します。

到達目標

流通・マーケティングがわれわれの社会とどう関係しているかを理解し、流通科学大学の専門課程における学びへの関心を高めることが目標です。

提出課題

中間試験、期末試験を課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

通常授業では、課題などは課しませんが、理解を深めることを目的として、中間試験後に簡単に試験の解説を行います。

評価の基準

中間試験	30%
期末試験	70%

履修にあたっての注意・助言他

当科目では出席はとりませんが、座席はすべて指定制とします。中間試験は講義時間中に行ない、遅刻や欠席はいかなる理由であっても認めず代替レポートなども実施しません。なお、すべての講義回において抜き打ちの出席確認やレポートなどは一切行いませんので、まじめに受講する意思のない学生は出席しないようにしてください。

教科書
.使用しない。

プリント資料及び参考文献

毎回の講義において、事前に読むべき資料があります。大学ホームページ内の「流通科学研究所 リサーチノート発行一覧」ページ（下記URL）で、No.34～47をそれぞれダウンロードし、予備したうえで講義に臨んでください。
流通科学研究所 リサーチノート発行一覧 <https://www.umds.ac.jp/facility/msi/r-note-list/>

授業計画

- 目の前に広がる流通の世界
- 商店街と大型店 流通の世界で生きる人びと
- コンビニ・ドラッグ・ストア
- カリスマ・バイヤー、カリスマ店長への道
- スターバックス コーヒーと缶コーヒー
- 実店舗とバーチャル店舗
- 中間試験
- バーモントカレーと金の食パン
- コンビニコーヒーと外食チェーン
- ITの発展とマーケティング、流通
- インターネットのコミュニティ
- グローバルとローカル・日本の寿司とエアコン
- ソーシャル・マーケティング：マーケティングを通じて、社会に貢献する
- まちづくりと商業
- まち歩きに出かけよう

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

* 各回の講義資料「のそいでみよう流通の世界」の予習：各1時間×14回=14時間
 * 各回の講義内容の復習：各30分×15回=7時間30分
 * 中間試験の準備：4時間
 * 期末試験の準備：4時間30分
 合計 30時間

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

なし

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」。マーケティング実務の最先端トピックである流通とデジタル技術、データサイエンスに関する話題について触れていきます。

備考